



神戸・南京をむすぶ会

＜ 前侵華日軍南京大虐殺遇難同胞記念館館長 **朱成山さん講演会** ＞

日時: 2016年12月11日(日)午後6時30分～8時30分

会場: 神戸学生青年センターホール

テーマ: 「世界の記憶と平和の構築のために努力しよう

—私はどのようにして南京大虐殺記念館館長をつとめてきたか—

講師: 前侵華日軍南京大虐殺遇難同胞記念館館長・朱成山さん

●DVD上映: 夏瑞榮(シャルイロン)さんの証言

参加費: 1000円(学生500円) ※事前申込不要です。

神戸・南京をむすぶ会は、1997年以降毎年、南京ともう一か所、日本軍が侵攻した現場を訪ねるフィールドワークを行っています。今年は南京と広州を訪ねました。また12月には、南京大虐殺の幸存者に来ていただいて神戸を含め全国5～6か所で証言集会を開催してきました。高齢化する幸存者の健康を考えて、今年は、幸存者を招請せずに前侵華日軍南京大虐殺遇難同胞記念館館長の朱成山さんの講演と夏瑞榮(シャルイロン)さんの映像をご覧ください。

夏瑞榮さんは、1922年8月22日生まれ、南京在住、1937年15、6歳の頃、祖父は日本軍に銃剣で刺殺され、自身も刺傷。日本兵に「花姑娘」探しを手伝わされたり、強姦された女性たち、難民区から連れ出され虐殺される大勢の人たち、「慰安所」、細菌による人体実験現場近くで、元気で入っていく中国人が死体で運ばれて行く様子などを目撃されています。細菌戦軍事裁判で頭蓋骨を証拠として持ち込み証言されました。現在敬老院で生活されています。今回は、ご高齢の為に、映像でお話を聞きます。

1954年南京生まれの朱成山(ツウ・ツェンサン)さんは、中国抗日战争史学会副会長、南京大屠殺研究会会長、侵華日軍南京大屠殺遇難同胞記念館名誉館長、前同館館長です。神戸・南京をむすぶ会の南京訪問では、毎年私たちをあたたく迎えていただきました。朱さんは、南京の事実を真摯に知ろうとする多くの日本市民の思いに答えて、多大なご協力をいただきました。このつながりが日本の市民と中国の市民の橋渡しをして来てくれたと思います。そして、今また関係が危ぶまれる中で、国家間が不安定であっても、それを補う市民どうしのつながりがあることが平和の維持に大きな役割を果たすであろうことを願い、静かにじっくりと事実を耳をかたむけたいと思います。ふるってご参加ください。

主催: 神戸・南京をむすぶ会(代表・宮内陽子 副代表・門永秀次、林伯權)

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1 TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878 神戸学生青年センター内
ホームページ <http://ksyc.jp/nankin/> e-mail hida@ksyc.jp (事務局長: 飛田雄一、ひだ ゆういち)

後援: 神戸学生青年センター

